

AIRRECT Ver20.0.0 の主要な追加機能/仕様変更について

本資料では、AIRRECT Ver20.0.0での主要な追加機能および仕様変更の概要を説明します。

その他の機能追加や仕様変更、不具合修正に関しては、リリースノートをご参照ください。

No.	追加機能/仕様変更
1	Wi-Fi 7 (IEEE802.11be) 機能に対応
2	サポート可能なSSID数を14個に拡張
3	SLAダッシュボード
4	SSID設定時のパラメータカスタマイズ機能を強化
5	アクセスポイントダッシュボードを一新
6	Sign in with Google™ を追加
7	最大24時間のLED点滅機能
8	ロケーション削除ポリシーの変更
9	CLIに特権モードを追加

1. Wi-Fi 7 (IEEE802.11be) 機能に対応

※本機能は、Wi-Fi 7対応アクセスポイント (AP-7410) のみで設定が適用されます。

- 320MHz Channels

6GHz 帯のチャンネル幅が、従来の最大 160MHz から 320MHz へ拡張されました。

これにより、6GHz 帯の広帯域を最大限に活かした高速通信を実現します。

※320MHz のチャンネル幅は、6GHz 帯でのみ利用可能です。

- Multi-RU (Multiple Resource Units)

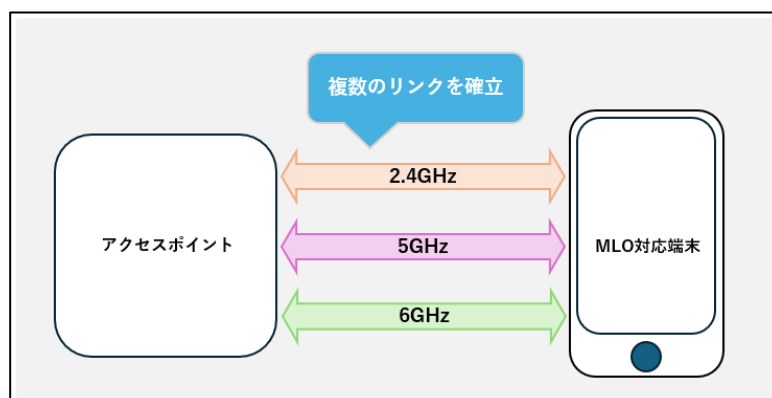
従来のSingle-RUでは、送受信に1つのRU (Resource Unit) しか使用できませんでしたが、Multi-RUでは1つの端末が複数のRUを同時に使用して通信できるため、利用可能な周波数リソースをより柔軟かつ効率的に活用することができます。

※RUとは、Wi-Fiの通信で使用する周波数帯域を小さな単位に分割したものです。



- MLO (Multi-Link Operation)

従来のシングルリンク通信では、1つの端末は1つの周波数帯 (例：2.4GHz、5GHz、6GHz) のみを使用して通信していました。一方、MLOではマルチリンク通信が可能となり、1つの端末が複数の周波数帯に同時接続できます。これにより、通信速度の向上や遅延の低減、信頼性の向上が実現されます。



2. サポート可能な SSID 数を 14 個に拡張

サポートされるSSIDの最大数が、従来の「周波数ごとに最大8個」から「周波数に依存しない最大14個」に拡張されました。これにより、干渉に強い6GHz/5GHz帯のSSIDを最大14個まで使用できるようになります。



3. SLA ダッシュボード

ダッシュボードに、ロケーション（拠点）ごとのサービスレベル（接続・パフォーマンス・アプリケーションエクスペリエンス・インフラストラクチャ・WIPS）を一元的に確認できるセクションが追加されました。サービスレベルは色分けで表示されるため、レベルの低いロケーション（拠点）を即座に把握できます。

	接続 ↑	パフォーマンス	アプリケーション・エクスペリエンス	インフラストラクチャ	不正 AP (WIPS)
▼ AIRRECT Cloud	100 %	62 %	--	77 %	559
▼ サブフォルダ	100 %	100 %	--	100 %	95
▶ 東京本社	100 %	0 %	--	100 %	43
▶ 大阪支社	100 %	--	--	100 %	44

4. SSID 設定時のカスタマイズ機能を強化

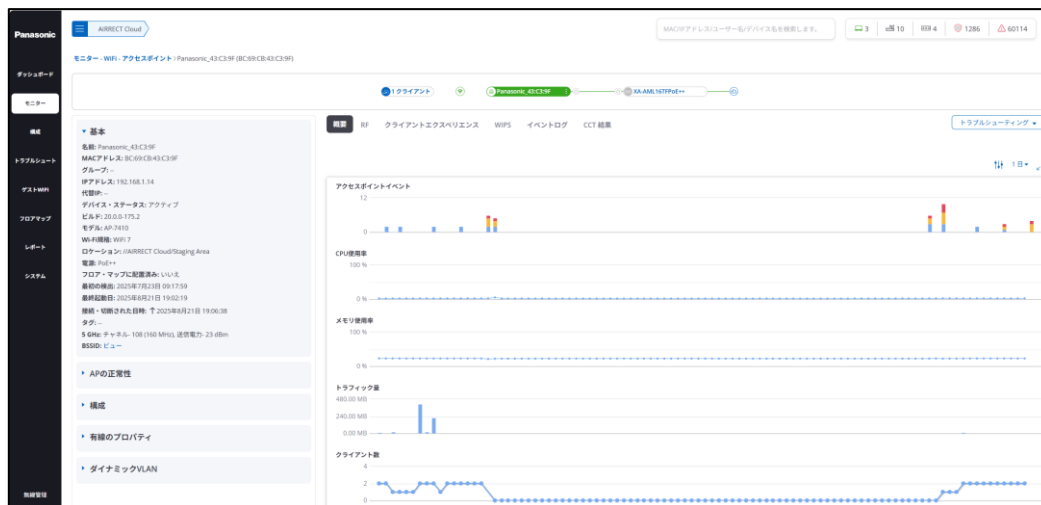
SSID設定時のカスタマイズ機能（アクセスポイントの所属ロケーションに応じて別々のパラメータを設定可能な機能）において、カスタマイズ可能なパラメータとして新たに「PSKパスフレーズ」と「ロールプロファイル」が追加されました。

1つのSSIDプロファイルであっても、アクセスポイントが所属するロケーション（拠点）に応じて、接続時に使用されるPSKパスフレーズや、ユーザーに適用されるロールプロファイルが自動的に適用されます。

設定	v20-test //AIRRECT Cloud/v20-test	継承 *v20-test/継承
▼ セキュリティ		
セキュリティのタイプ	WPA3	WPA3
認証タイプ	SAE	SAE
PSK パスフレーズ パスワードポリシーに準拠していません 良好

5. アクセスポイントダッシュボードを一新

新しいアクセスポイントダッシュボードでは、通信量、通信パフォーマンス、RF状況、イベントログなど、従来よりも多くの情報を一つのダッシュボードで提供します。より詳細で一元的な可視化により、トラブルシューティングをはじめとした運用効率の向上に大きく貢献します。



6. Sign in with Google™ を追加

キャプティブポータルのプラグインに「Sign in with Google™」が追加されました。

ゲストユーザーは自身のGoogleアカウントを利用して認証を行い、ゲストネットワークへアクセスすることができます。

※本機能の利用には、Google Cloud側でのAPI設定が必要です。



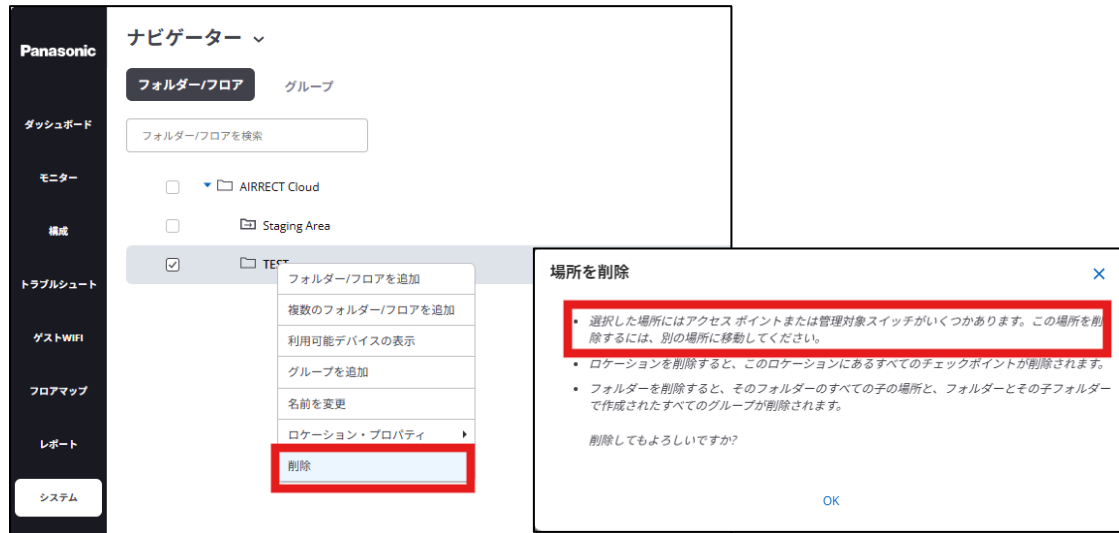
7. 最大 24 時間の LED 点滅機能

アクセスポイントのLED点滅機能の最長時間が、従来の30分から24時間に変更されました。

トラブルシュート	▶	59:CB:43:BF:8F 192.168
スペクトラム分析	▶	
証明書	▶	
カスタマイズ	▶	
LEDの点滅を開始	▶	5分
アラートを設定		15分
ファームウェアの更新		30分
グループに割り当て/再割り当て		2 時間
検索 <small>早期アクセス</small>		4 時間
アクセス・ポイントをグループから削除		8 時間
再起動		12 時間
名前を変更		24 時間
タグを変更する		

8. ロケーション削除ポリシーの変更

アクセスポイントが所属しているロケーションを誤って削除することを防ぐため、アクセスポイントが所属しているロケーションは削除できない仕様に変更されました。



9. CLI に特権モードを追加

CLIに特権モードが追加され、一部のコマンドは特権モードでのみ実行可能となりました。

詳細は[CLIリファレンス](#)をご参照ください。